

熊谷組のダム施工技術

その時代の最先端技術を駆使して日本のダムづくりをリードしてきました

概要

コンクリートダム堤体工事におけるICTを用いた品質管理技術

現在建設中の春遠ダムでは、これまで熊谷組が開発してきたダムコンクリートの品質管理技術を導入しました。

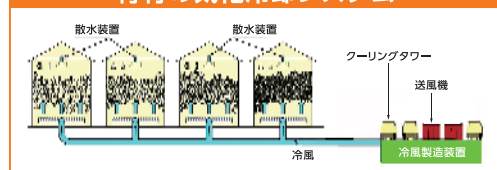
- コンクリート骨材AI入荷管理システム
- ダムコンクリート締固め管理システム
- CIM-CRAFT®管理システム

これにより、品質管理の一元管理、全量管理やトレーサビリティの確保が可能になりました。

ダムコンクリート締固め管理システム



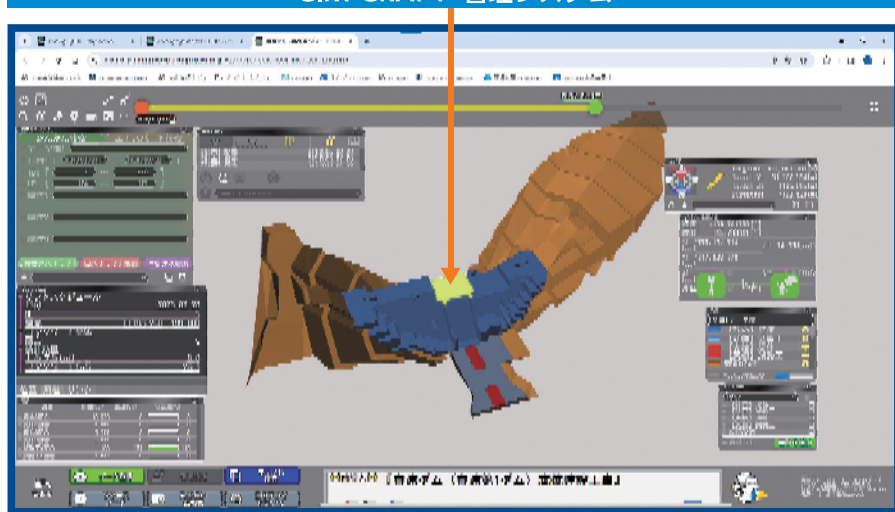
骨材の気化冷却システム



コンクリート骨材AI入荷管理システム



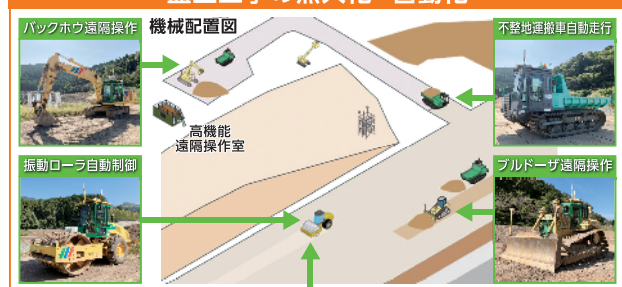
CIM-CRAFT®管理システム



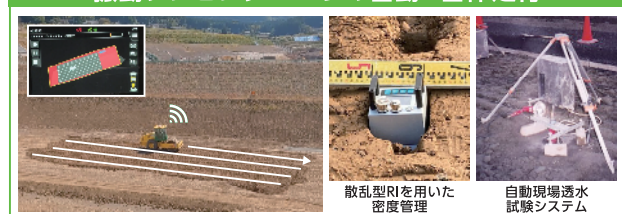
フィルダム盛立工事における自動走行・遠隔操作技術

現在建設中の大切畑ダムでは熊谷組が開発してきた自動走行・遠隔操作技術を盛土施工の現場に導入しました。【積込作業】、【運搬作業】、【敷均作業】、【転圧作業】の4つの作業で稼働する5台の建設機械を2名のオペレータで操作することができます。これにより、作業の省力化や一人当たりの生産性向上が可能になりました。

盛立工事の無人化・自動化



振動タンピングローラの自動・自律走行



ダム現場全体をカバーするネットワーク



高める、つくる、そして、支える。



熊谷組